みんぱくリポジトリ
国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnolo

Bulletin of the National Museum of Ethnology Vol. 12No. 2; Cover, Contents,and others

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-02-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/00009220

1987——12巻2号

国立民族学博物館研究報告

●

東南アジアの魚醤
——魚の発酵製品の研究（5）————石毛直道，ケネス・ラドル

手織機の構造・機能論的分析と分類————吉本　忍

刳船の発達諸形態の分類と地域類型
——日本とその隣接地域を中心として————出口晶子

アイヌのお産
——和田文治郎遺稿————和田　完

19世紀中葉以前におけるアイヌの通過儀礼
——松浦武四郎筆画『蝦夷風俗画誌』稿本を中心に————大塚和義

国立民族学博物館　〒565　大阪府吹田市千里　万博公園　TEL. 06-876-2151

国立民族学博物館研究報告

12巻2号　　1987年

目　次

東南アジアの魚醤
——魚の発酵製品の研究(5)—— ……石毛直道……235
ケネス・ラドル

手織機の構造・機能論的分析と分類 ……吉本　忍……315

刳船の発達諸形態の分類と地域類型
——日本とその隣接地域を中心として—— ……出口晶子……449

アイヌのお産
——和田文治郎遺稿——……和田　完……499

19世紀中葉以前におけるアイヌの通過儀礼
——松浦武四郎筆画『蝦夷風俗画誌』稿本を中心に——……大塚和義……513

彙　報 ……551

国立民族学博物館研究報告寄稿要項 ……556

国立民族学博物館研究報告執筆要領 ……557

BULLETIN OF THE NATIONAL MUSEUM OF ETHNOLOGY

Vol. 12 No. 2 **1987**

ISHIGE, Naomichi
RUDDLE, Kenneth — *Gyoshō* in Southeast Asia: A Study of Fermented Aquatic Products (5) ····235

YOSHIMOTO, Shinobu — Principles for a Basic Classification of Handlooms···315

DEGUCHI, Akiko — The Evolutional Typology and Geographical Distribution of the Dugout Canoe ····449

WADA, Kan — Childbirth among the Ainu: Manuscripts left by the late Bunjiro Wada ····499

OHTSUKA, Kazuyoshi — Reconstitution of the Rite of Passage of the Ainu before the mid-Ninteenth Century, based on "The Illustrated Manuscript of Manners and Customs in Ezo", by Takeshiro Matsuura ····513

彙　報

（昭和62年4月～昭和62年6月）

人事異動

（行政職）　　（配置換）

4月1日　管理部展示課長　高橋　柏
（文部省学術国際局学術情報課専門員）
情報管理施設資料室長
川西　正光
（大阪大学経理部経理課課長補佐）
管理部庶務課課長補佐
山崎　泉
（大阪大学庶務部庶務課庶務係長）
管理部会計課課長補佐
井村　祐二
（大阪大学経理部主計課監査係長）

5月21日　管理部長　和田　浩司
（文部省体育局体育課体育企画官）

4月1日　東北大学事務局付庶務部研究協力課長　岡田　精志
（管理部展示課長）
岐阜大学事務局付入学主幹
佐藤　嗣
（情報管理施設資料室長）
大阪大学歯学部総務課課長補佐
城戸　廣司
（管理部庶務課課長補佐）
大阪大学経理部経理課課長補佐
藤木　信雄
（管理部会計課課長補佐）

5月21日　国際日本文化研究センター管理部長　秦　明夫
（管理部長）

（教育職）

4月1日　（昇任）
名古屋大学教養部教授
小谷　凱宣
（第一研究部助教授）
第一研究部助教授　秋道　智彌
（第二研究部助手）
（採用）
4月1日　第二研究部助手　杉島　敬志
（配置換）
5月1日　第一研究部助手　利光　有紀
（京都大学文学部助手）

評議員

氏名	任期
伊地智善継	(61. 9.15～63. 9.14)
上山　春平	(61. 9.15～63. 9.14)
岡本　道雄	(61. 9.15～63. 9.14)
北村　甫	(61. 9.15～63. 9.14)
木田　宏	(61. 9.15～63. 9.14)
窪　徳忠	(61. 9.15～63. 9.14)
熊谷　信昭	(61. 9.15～63. 9.14)
久山　康	(61. 9.15～63. 9.14)
鈴木　尚	(61. 9.15～63. 9.14)
土田　直鎮	(61. 9.15～63. 9.14)
坪井　清足	(61. 9.15～63. 9.14)
直江　広治	(61. 9.15～63. 9.14)
中尾　佐助	(61. 9.15～63. 9.14)
西島　安則	(61. 9.15～63. 9.14)
林屋辰三郎	(61. 9.15～63. 9.14)
向坊　隆	(61. 9.15～63. 9.14)
村山　松雄	(61. 9.15～63. 9.14)
山村　雄一	(61. 9.15～63. 9.14)

運営協議員

氏名	任期
綾部　恒雄	(61. 9.15～63. 9.14)
石井　米雄	(61. 5.16～63. 5.15)
石川　榮吉	(61. 9.15～63. 9.14)
伊藤　清司	(61. 9.15～63. 9.14)
祖父江孝男	(61. 5.16～63. 5.15)
中根　千枝	(61. 9.15～63. 9.14)
藤岡　喜愛	(61. 9.15～63. 9.14)
増田　昭三	(62. 2. 1～64. 1.31)
山口　昌男	(61. 9.15～63. 9.14)

山田　隆治　(61. 9.15～63. 9.14)
米山　俊直　(61. 9.15～63. 9.14)
伊藤　幹治　(61. 9.15～63. 9.14)
大給　近達　(61. 9.15～63. 9.14)
片倉　素子　(62. 4. 1～64. 3.31)
君島　久子　(62. 4. 1～64. 3.31)
佐々木高明　(61. 9.15～63. 9.14)
杉本　尚次　(62. 4. 1～64. 3.31)
竹村　卓二　(62. 4. 1～64. 3.31)
中村俊亀智　(61. 9.15～63. 9.14)
藤井　知昭　(61. 9.15～63. 9.14)
和田　祐一　(61. 9.15～63. 9.14)

企画委員

栗津　潔　(62. 4. 1～64. 3.31)
五十嵐道子　(62. 4. 1～64. 3.31)
大貫　良夫　(62. 4. 1～64. 3.31)
勝井　三雄　(62. 4. 1～64. 3.31)
加藤　秀俊　(62. 4. 1～64. 3.31)
川添　登　(62. 4. 1～64. 3.31)
黒川　紀章　(62. 4. 1～64. 3.31)
小松　左京　(62. 4. 1～64. 3.31)
後藤　和彦　(62. 4. 1～64. 3.31)
高田　宏　(62. 4. 1～64. 3.31)
田邊　員人　(62. 4. 1～64. 3.31)
多比良　稔　(62. 4. 1～64. 3.31)
仲　耕作　(62. 4. 1～64. 3.31)
中山　和彦　(62. 4. 1～64. 3.31)
米山　俊直　(62. 4. 1～64. 3.31)
大林　太良　(62. 4. 1～64. 3.31)
谷　泰　(62. 4. 1～64. 3.31)

電子計算機運営委員

市川　惇信　(62. 4. 1～64. 3.31)
及川　昭文　(62. 4. 1～64. 3.31)
大林　太良　(62. 4. 1～64. 3.31)
国井　利泰　(62. 4. 1～64. 3.31)
田中　琢（みがく）　(62. 4. 1～64. 3.31)
辻　三郎　(62. 4. 1～64. 3.31)
長尾　眞　(62. 4. 1～64. 3.31)
中野　照海　(61.10. 1～63. 9.30)
中山　和彦　(62. 4. 1～64. 3.31)
西之園晴夫　(61.10. 1～63. 9.30)
八村廣三郎　(61.10. 1～63. 9.30)
星　仰（たかし）　(60.11.16～62.11.15)
山中　光一　(62. 4. 1～64. 3.31)
吉田　将　(62. 4. 1～64. 3.31)
佐々木高明　(62. 4. 1～64. 3.31)
大給　近達　(62. 4. 1～64. 3.31)
中村俊亀智　(62. 4. 1～64. 3.31)
藤井　知昭　(62. 4. 1～64. 3.31)
栗田　靖之　(62. 4. 1～64. 3.31)
小山　修三　(62. 4. 1～64. 3.31)
杉田　繁治　(62. 4. 1～64. 3.31)
和田　浩司　(62. 4. 1～64. 3.31)

国内資料調査委員

石塚　尊俊　(62. 4. 1～64. 3.31)
泉　房子　(62. 4. 1～64. 3.31)
犬塚　幹士　(62. 4. 1～64. 3.31)
今村　充夫　(62. 4. 1～64. 3.31)
岩井　宏實　(62. 4. 1～64. 3.31)
上江州　均　(62. 4. 1～64. 3.31)
勝部　正郊　(62. 4. 1～64. 3.31)
萱野　茂　(62. 4. 1～64. 3.31)
神崎　宣武　(62. 4. 1～64. 3.31)
木崎　和廣　(62. 4. 1～64. 3.31)
岸田　定雄　(62. 4. 1～64. 3.31)
喜多　慶治　(62. 4. 1～64. 3.31)
倉田　亨　(62. 4. 1～64. 3.31)
小谷　方明　(62. 4. 1～64. 3.31)
坂本　正夫　(62. 4. 1～64. 3.31)
佐野　賢治　(62. 4. 1～64. 3.31)
澤　四郎　(62. 4. 1～64. 3.31)
下野　敏見　(62. 4. 1～64. 3.31)
鈴木　尚夫　(62. 4. 1～64. 3.31)
高橋　克夫　(62. 4. 1～64. 3.31)
立平　進　(62. 4. 1～64. 3.31)
田中忠三郎　(62. 4. 1～64. 3.31)
鶴藤　鹿忠　(62. 4. 1～64. 3.31)
都丸十九一　(62. 4. 1～64. 3.31)
西村　綏子　(62. 4. 1～64. 3.31)
野口　光敏　(62. 4. 1～64. 3.31)
橋本　鉄男　(62. 4. 1～64. 3.31)

林　道明　(62. 4. 1～64. 3.31)
福田　栄治　(62. 4. 1～64. 3.31)
藤本　英夫　(62. 4. 1～64. 3.31)
松下　亘　(62. 4. 1～64. 3.31)
山口　賢俊　(62. 4. 1～64. 3.31)
山路　興造　(62. 4. 1～64. 3.31)
和田　正洲　(62. 4. 1～64. 3.31)

館内各種委員会（4月1日付）

○標本資料委員会委員
杉本　尚次　佐々木高明　中村俊亀智
大塚　和義　松山　利夫　杉村　棟
福井　勝義　藤井　龍彦　森田　恒之
寺島　裕康　高橋　柏　川西　正光
門田　泰典

○映像・音響資料委員会委員
伊藤　幹治　佐々木高明　片倉　素子
須藤　健一　田邊　繁治　大森　康宏
八杉　佳穂　櫻井　哲男　寺島　裕康
高橋　柏　川西　正光　門田　泰典

○図書委員会委員
杉本　尚次　佐々木高明　君島　久子
守屋　毅　杉村　棟　吉田　集而
和田　正平　黒田　悦子　大丸　弘
寺島　裕康　川西　正光

○国内資料調査委員会委員
杉本　尚次　佐々木高明　中村俊亀智
大塚　和義　守屋　毅　松山　利夫
秋道　智彌　中牧　弘允　大丸　弘
櫻井　哲男　寺島　裕康　川西　正光
門田　泰典

○情報システム委員会委員
佐々木高明　石毛　直道　周　達生
松澤　員子　栗田　靖之　江口　一久
小山　修三　杉田　繁治　福川　圭子
久保　正敏　山本　泰則　寺島　裕康
高橋　柏　川西　正光　門田　泰典

○情報化委員会委員
藤井　知昭　佐々木高明　大給　近達
中牧　弘允　松澤　員子　栗田　靖之
端　信行　福井　勝義　藤井　龍彦
杉田　繁治　瀬川　昌久　福川　圭子
久保　正敏　寺島　裕康　高橋　柏
川西　正光　門田　泰典

○展示委員会委員
竹村　卓二　中村俊亀智　大塚　和義
松山　利夫　端　信行　江口　一久
大森　康宏　黒田　悦子　山本　紀夫
石森　秀三　森田　恒之　瀬川　昌久
佐々木史郎　利光　有紀　永ノ尾信悟
吉本　忍　杉島　敬志　庄司　博史
大塚　和夫　櫻井　哲男　和田　浩司
高橋　柏　川西　正光　門田　泰典

○出版委員会委員
竹村　卓二　君島　久子　須藤　健一
長野　泰彦　田邊　繁治　宮本　勝
和田　正平　福井　勝義　山本　紀夫
垂水　稔　崎山　理　ケネス・ラドル
田中　雅一　中山　和芳　池田　義春

○広報・事業委員会委員
藤井　知昭　片倉　素子　和田　祐一
友枝　啓泰　周　達生　秋道　智彌
中牧　弘允　垂水　稔　野村　雅一
佐々木史郎　利光　有紀　杉島　敬志
田中　雅一　八杉　佳穂　久保　正敏
和田　浩司　糸金則由紀　寺島　裕康
池田　義春　高橋　柏　門田　泰典

○防災対策委員会委員
竹村　卓二　佐々木高明　伊藤　幹治
藤井　知昭　杉本　尚次　和田　浩司
糸金則由紀　寺島　裕康　川島　英昭
池田　義春　高橋　柏　川西　正光
門田　泰典

○大学院委員会委員
藤井　知昭　竹村　卓二　佐々木高明
伊藤　幹治　杉本　尚次　片倉　素子
和田　祐一　和田　浩司

○施設整備委員会委員
佐々木高明　石毛　直道　宮本　勝
大丸　弘　重松真由美　庄司　博史
和田　浩司　寺島　裕康　川島　英昭
高橋　柏　川西　正光

海外における研究・調査・収集活動

氏名	官職	出発	帰国	行先
田邊　繁治	助教授（第二研究部）	62. 4. 3	62. 4.14	タイ
佐々木高明	教　授（第二研究部）	62. 4. 5	62. 4.14	タイ
ケネス・ラドル	助教授（第五研究部）	62. 4.16	62. 6. 5	マラウィ共和国
大塚　和夫	助　手（第三研究部）	62. 4.20	63. 4. 2	エジプト，ヨルダン，シリア，トルコ，連合王国，モロッコ，スーダン
松澤　員子	助教授（第二研究部）	62. 4.20	62. 7. 9	アメリカ合衆国
片倉　素子	教　授（第二研究部）	62. 4.28	62. 5. 5	フランス
石毛　直道	教　授（第四研究部）	62. 5.18	62. 5.29	中華人民共和国
長野　泰彦	助教授（第一研究部）	62. 5.19	62. 5.28	中華人民共和国
小川　　了	助教授（第三研究部）	62. 5.22	62. 6. 4	ベルギー，フランス
大森　康宏	助教授（第三研究部）	62. 5.22	62. 6.10	フランス
杉田　繁治	助教授（第五研究部）	62. 6.13	62. 6.30	タイ，マレーシア，シンガポール
江口　一久	助教授（第三研究部）	62. 6.15	62. 6.27	中華人民共和国
ケネス・ラドル	助教授（第五研究部）	62. 6.20	62. 7.31	インドネシア
長野　泰彦	助教授（第一研究部）	62. 6.22	62. 8.23	インド，ネパール，パキスタン
瀬川　昌久	助　手（第一研究部）	62. 6.24	62. 7. 1	中華人民共和国
周　　達生	助教授（第一研究部）	62. 6.24	62. 7.14	中華人民共和国
藤井　知昭	教　授（第四研究部）	62. 6.24	62. 7.14	中華人民共和国

来館者抄

4月10日　沈　　竹（中国，文化部文物事業管理局長）
張　　冀（中国，文化部文物事業管理局外事処副処長）
Erkki Aho（フィンランド教育省普通教育局長）
Jorma Pöyhönen（フィンランド教育省職業教育局長）
Lauri Kärävä（フィンランド教育省総務課長）

4月14日　ジャン・ベルナール（フランス，科学アカデミー前総裁）
ラトナワール（タイ，マヒドール大学東南アジア文化センター所長）
藤木　典生（福井医科大学医学部教授）

4月20日　渡部祐資（国際交流基金理事）

5月1日　中国，中央民族学院訪日団一行
団長　任　世　埼　他三名

5月9日　中国，蚌埠市経済友好代表団一行
団長　徐　景　仁　他四名

5月11日　Christian S.Nissen（デンマーク，国立博物館管理部長）
Maibuch（デンマーク，国立博物館アドヴァイザー）

5月12日　京都国立近代美術館職員一行

5月20日　田代　　空（国際大学理事長特別補佐）

5月21日　中国，上海市視察団一行
団長　林　振　志　他五名
若林　俊輔（東京外国語大学教授）
田島　信元（東京外国語大学助教授）
細田　重好（東京外国語大学施

設課長）
安孫子俊一（東京外国語大学施設課設備係長）

5月22日　中国，広州市城鎮建築考察団一行
団長　方　　可　他五名

5月24日　モンゴル人民共和国，ドゥゲルスレン・モンゴル外相一行
総勢五名

5月26日　西堀　英夫（法務総合研究所第三部教官）

5月27日　Patricia M. Battin（アメリカ合衆国，コロンビア大学副学長並びに図書館長）
井上　　如（学術情報センター教授）

5月29日　鄧広銘夫妻（中国，北京大学歴史系教授）

5月30日　国立九大学法・経学部長会議一行　三九名

6月1日　江上　波夫（財団法人古代オリエント博物館長・財団法人リトルワールド館長）

6月6日　中国，江蘇工学院一行　四名

6月12日　国立九大学理学部長会議参加者一行

6月16日　筒井　孝代（福岡市教育委員会文化部博物館建設準備室司書）

6月18日　岡田　　晶，佐藤　弘憲（中央学院大学図書館電算センター）
池畑八重子，松井　　博（中央学院大学図書館司書）

6月21日　海南市立歴史民俗資料館運営審議委員一行

6月23日　朝長　紀文（長崎オランダ村博物館業務企画課長）
吉川　明子（長崎オランダ村業務企画課主任）
横山　文良（長崎オランダ村博物館業務課）
肥後　昭一（放送大学監事）

国立民族学博物館研究報告寄稿要項

1. 国立民族学博物館研究報告は，民族学（文化人類学）に関する論文，資料・研究ノート，調査研究活動報告等を掲載・発表することにより，民族学（文化人類学）の発展に寄与するものである。
2. 国立民族学博物館研究報告に寄稿することができる者は，次のとおりとする。
   (1) 国立民族学博物館（以下「本館」という。）の教官（客員教授等を含む。）及び本館の組織，運営に関与する者
   (2) 本館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
   (3) その他本館において適当と認めた者
3. 原稿を寄稿する場合は，論文，資料・研究ノート，調査研究活動報告等のうち，いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお，この区分についての最終的な調整は，国立民族学博物館研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という。）において行う。（編集する場合は，原則として論文及び資料・研究ノートを1段組，その他のものを2段組として取り扱う。）
4. 原稿執筆における使用言語は，日本語，英語，フランス語，スペイン語，ロシア語，中国語及びドイツ語のうちいずれを用いても差し支えない。ただし，その他の言語を用いる場合は，編集委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字，記号，印刷方法等が必要な場合は，編集委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿が論文で，日本語を使用する場合は，原則として英文により500語程度の要旨を付けるものとし，その他の言語による論文の場合は，編集委員会に相談するものとする。なお，寄稿する原稿については，執筆者名のローマ字表記及び原稿表題の英文を付記しなければならない。
7. 寄稿する原稿の枚数は，原則として制限しない。ただし，編集する場合は編集委員会の判断により，紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は，必ず清書（欧文の場合はタイプ）し，原稿の写し1部を添付するものとする。なお，図，表のスミ入れ，レタリングは，編集委員会で処理する。
9. 寄稿された原稿は，審査委員会において審査のうえ，採否を決定する。なお，原稿は，採否にかかわらず原則として返却しない。
10. 稿料の支払い，掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の執筆に当っては，別に定める「国立民族学博物館研究報告執筆要領」による。
12. 原稿の寄稿先及び連絡先は，次のとおりとする。

〒565　大阪府吹田市千里　万博公園10-1
国立民族学博物館内
国立民族学博物館研究報告編集委員会（電話 代表 06-876-2151）

国立民族学博物館研究報告執筆要領

1. 原稿は，200字詰原稿用紙を使用し，横書きとする。
2. 原稿は，図，表を除き，原則として黒インクを使用する。
3. 日本語を使用して執筆する場合は，原則として当用漢字，現代かなづかいを用いる。
4. 句読点，括弧，各種記号等は，原則として原稿用紙のマス目1字分の扱いをする。
5. 原稿中の年号，月日及びその他の数字は，原則としてアラビア数字を用いる。なお，年号は，原則として西暦とする。
6. 図及び表は，一図，一表ごとに別紙に書き，本文とは別に一括して添付するものとする。なお，図，表ごとに通し番号（「図1」，「表1」等の要領により記入），図，表名及び説明並びに出典等を記し，本文原稿の欄外には，それぞれのそう入箇所を指定するものとする。
7. 写真は，写りの明瞭なもので，手札判以上の大きさに焼き付けたものに限り，図及び表の扱いに準じて通し番号，説明を付けたうえ，そう入箇所を指定するものとする。ただし，カラー写真は，原則として受け付けない。
8. 本文又は脚注において文献を指示する場合は，カギ括弧を付け，著者名，文献刊行年次，引用ページ数の順に下記の例に従って記載する。

   [柳田 1942: 67–69]

   [Leach 1961: 123]

   [柳田 1942: 67–69, 1944: 20–22; Leach 1961: 123]

   ただし，同年次刊行物の場合は，アルファベット順により，下記のように記載するものとする。

   [柳田 1942a: 20–22] [柳田 1942b: 10]
9. 脚注は，一つ一つ別紙に記し，通し番号を付ける。なお，本文中に脚注をそう入する箇所には，脚注の当該番号を記入し，別紙の脚注には，本文のページ数を明記するものとする。
10. 本文及び脚注において参照した文献は，すべて原稿の末尾にまとめて下記の方法により記入する。

    (1) 文献の配列は，著者名のアルファベット順とすること。

    (2) 文献の記載は，著者名，年号，論題（タイトル），誌名，巻，号，出版社名の順とすること。欧文の雑誌名及び単行本名は，イタリック体にするため，原稿には下線を引くこと。また，ローマ字人名は，スモール・キャピタルとするため，二重下線を引き，日本文の場合は，論題にカギ括弧，雑誌名及び単行本名に二重のカギ括弧を付けること。雑誌の巻数及び号数は，原則としてアラビア数字を用いること。

    (例)

    論文の場合 (1)

    石田英一郎

    1948 「文化史的民族学成立の基本問題」『民族学研究』 13(4): 311–330。

    Bohannan, P.

    1973 Rethinking Culture: A Project for Current Anthropologist. Current Anthropology 14(4): 357–372.

    論文の場合 (2)

    杉浦 健一

    1942 「民間信仰の話」柳田国男編『日本民俗学研究』岩波書店，pp. 117–143。

Leach, Edmund

1964 Anthropological Aspects of Language: Animal Categories and Verbal Abuse. In Eric H. Lennenberg (ed.), New Directions in the Study of Language, The M. I. T. Press, pp. 23–63.

単行本の場合

泉　靖一

1966 『文明をもった生物』 日本放送出版協会。

Murdock, George P. (ed.)

1960 Social Structure in Southeast Asia. Viking Fund Publications in Anthropology No. 29, Wenner-Gren Foundation for Anthropological Research, Inc.

翻訳書の場合

エリアーデ, M.

1974 『シャーマニズム――古代的エクスタシー技術――』 堀一郎訳　冬樹社。

van Gennep, Arnold

1960 The Rites of Passage. M. B. Vizedom and G. L. Caffee, trans., The University of Chicago Press.

国立民族学博物館研究報告　12巻2号

〔監　　修〕
梅　棹　忠　夫
〔編集委員長〕
竹　村　卓　二
〔編 集 委 員〕
君　島　久　子
ケ ネ ス ・ ラ ド ル
崎　山　　理
須　藤　健　一
田　中　雅　一
田　邊　繁　治
垂　水　　稔
中　山　和　芳
長　野　泰　彦
福　井　勝　義
宮　本　　勝
山　本　紀　夫
和　田　正　平

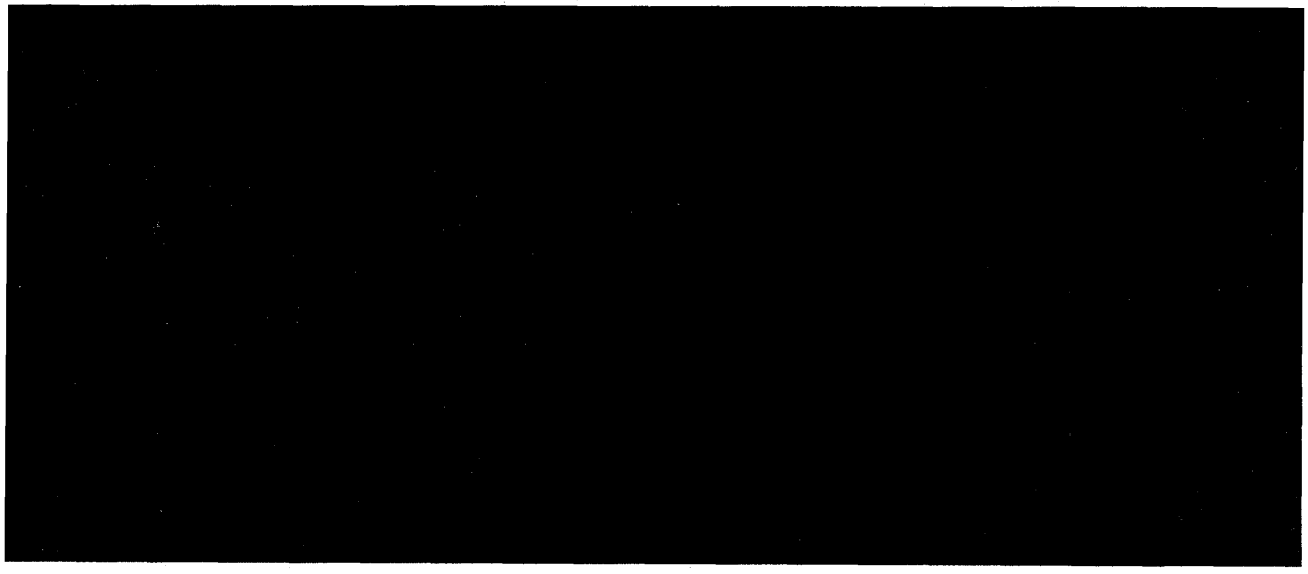
昭和62年11月10日　発　行　非売品

国立民族学博物館研究報告　12巻2号

編集・発行　国立民族学博物館
〒565　吹田市千里万博公園10-1
TEL 06(876)2151(代表)

印　　刷　中西印刷株式会社
〒602　京都市上京区下立売通小川東入
TEL 075(441)3155(代表)

Bulletin of the National Museum of Ethnology
vol.12 no.2
1987



ISHIGE, Naomichi RUDDLE, Kenneth	*Gyoshō* in Southeast Asia: A Study of Fermented Aquatic Products (5)
YOSHIMOTO, Shinobu	Principles for a Basic Classification of Handlooms
DEGUCHI, Akiko	The Evolutional Typology and Geographical Distribution of the Dugout Canoe
WADA, Kan	Childbirth among the Ainu: Manuscripts left by the late Bunjiro Wada
OHTSUKA, Kazuyoshi	Reconstitution of the Rite of Passage of the Ainu before the mid-Ninteenth Century, based on "The Illustrated Manuscript of Manners and Customs in Ezo", by Takeshiro Matsuura

ISSN 0385-180X

National Museum of Ethnology

Senri Expo Park, Suita, Osaka, Japan
phone 06-876-2151